



碧南ロータリークラブ週報

第2850回例会 平成29年12月20日(水)

- 会長 木村 徳雄
- 幹事 角谷 信二
- 会場監督(SAA) 長田 和徳

2017-2018 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp



ロータリー:
変化をもたらす

- 会報委員 貝田隆彦・黒田泰弘・岡島晋一

●齊 唱

ロータリーソング「今日も楽し」

●本日のお弁当

小伴天

●本日のお客様

神谷研税理士事務所 所長 神谷 研様

神谷研税理士事務所 副所長、キャリアコンサルタント 亀島深里様

●本日の卓上花

カーネーション (ミナミ)、バーゼリア (ストロベリー)

会 長 挨 拶

皆さん、こんにちは。段々と寒くなって参りましたので、皆さん体調を崩さないようにしてください。

12月に入り、私は酒宴がいっぱいありまして、体調には気を付けておるのですが、どうも鼻がグズグズしております。今からも飲む機会が多いので、酒に弱い私が迷惑を掛けないう



木村徳雄会長

にやっておりますけれども、皆さんも十分に気を付けて行動していただきたいと思っております。よろしくお願い致します。

今日の雑学は「魚の赤身と白身はなぜ分かれているのか」という話になります。なぜ同じ魚類で身の色が違うのかというと、魚の身は人間と同じように筋肉で、その筋肉は速筋、遅筋、中間筋という3つの筋組織が混ざって形成されております。速筋は瞬発力や爆発力を発揮するための筋肉で、人間でいうと体操選手や短距離走などに必要な筋肉であります。遅筋は大きな力を出すことはできませんが、持久力に優れており、魚の筋肉もその生態によって

必要な種類の筋肉が違います。タイやヒラメなどの白身魚は近海に住んでおり、外敵から身を守るために素早い身のこなしが必要でありますから速筋が発達しております。マグロやカツオなどの赤身魚は回遊魚でありますから、ひたすら泳ぎ続けなければならないので、遅筋が発達しております。つまり、遅筋が発達したマグロやカツオなどは筋肉を動かし続けるので、酸素を筋肉に供給しなければいけません。その筋肉の中にミオグロビンという色素たんぱく質がありまして、酸素を筋肉に運んでくれる役割を担っており、ミオグロビンの密度が高くなっております。その色素の色が筋肉に表れることで赤身になります。浅瀬にいるタイやヒラメなどは遅筋をそう使わないものですから、色素がなくて白身ということになります。そんなつまらない話でございましたけども、これで終わります。ありがとうございました。

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ 他クラブの例会変更は幹事報告書の通りでございます。
- ・ 西尾 RC さんより、創立 60 周年記念コンサートの案内が届いております。詳細等はパンフレットでご確認ください。
- ・ 今週末の 23 日が年忘れ家族会ということで、衣浦グランドホテルでの開催となります。それに伴いまして、次週の 27 日は振替休会となります。新年は 1 月 3 日も休会でございます、1 月 10 日が新年例会となります。よろしく願い致します。
- ・ 小伴天さんよりお歳暮をいただきました。ありがとうございます。



角谷信二幹事

委 員 会 報 告

<出席奨励委員会>

総会員数 68 名 (内出席免除者 16 名の内出席者 11 名)出席者 55 名	
出席対象者 55/63 名	出席率 87.30%
欠席者 13 名(病欠者 0 名)	前々回修正出席率 100%

※十週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

<ニコボックス委員会>

神谷研税理士事務所 所長 神谷研様 安城 RC の神谷です。ホームクラブへ帰った気がします。本日は弊所の副所長 亀島さんの卓話の補助者として来ました。よろしく願い致します。

神谷研税理士事務所 副所長 亀島深里様 本日卓話をさせていただきます。宜しく願い致します。

木村 徳雄君 週末、丹後伊根町に行ってきました。その足で長野県で初スキーして週末を満喫しました。

- 角谷 信二君 遊び仲間がゴルフのアイアンを購入し、自慢顔で話してました。週末のラウンドはギャフンと言わせます。
- 大竹 密貴君 家族の通夜、葬儀へのご会葬、誠にありがとうございました。心より厚く御礼申し上げます。
- 岡本 耕也君 先週のゴルフ部会にて繰上げではありますが、優勝させて頂きました。
- 荻谷 賢治君 本日の卓話の講師、亀島深里様を御紹介させていただきます。

卓 話

「会社を元気にするキャリアコンサルタントはこんな国家資格です。」

神谷研税理士事務所 副所長、キャリアコンサルタント 亀島深里様



亀島深里様

只今、ご紹介いただきました安城 RC の亀島でございます。本日は大変貴重なお時間をいただき、誠にありがとうございます。本日の卓話でございますが、国家資格「キャリアコンサルタント」誕生の経緯についてお話しをさせていただきます。

国家資格「キャリアコンサルタント」誕生の経緯ですが、平成 28 年 4 月にキャリアコンサルタントが国家資格になりました。では、いったいなぜ国家資格「キャリアコンサルタント」誕生の必要があったのでしょうか。実は、国家資格化される前、遡ること今から 16 年前、平成 13 年 5 月に「労働市場の 5 つのインフラ整備」の中の 1 つに「キャリア形成の促進のための支援システムの整備」というものが示されました。そして、その一環として「キャリア・コンサルティング技法の開発」が挙げられたのです。この 16 年前の施策を機に平成 13 年度以降、国は民間の試験機関などの活用により、「標準キャリア・コンサルタント」の計画的な養成に取り組んできました。しかし、キャリアコンサルティングを生業として活動する際、特別な規制はなく、言い方を変えてしまえば誰でもキャリアコンサルティングが行えました。例えば、会社の人事部や総務、そういった社員の方が社内の社員に対してカウンセリングを行うということもできてしまいました。また、名称についてなんですけど、キャリア・コンサルタント、キャリアカウンセラー、コンサルティング、などといったように不統一でした。しかし、皆様もご承知の通り、働き方が多様化する中で、働く人、働きたい人はどのようにキャリア形成をし、また企業や組織はどのように関わっていくのか？そうした課題が認識される中、一般企業、学校、そしてハローワークなどの公的就業支援機関、人材紹介や人材派遣会社など必要とされる場が広がって参りました。そして、必要不可欠な時代へと変化しております。そのことにより、キャリアコンサルティングを行う者のレベルの標準化の必要性が国の政策として考えるべき重要な課題になってきたからです。

キャリア形成支援の専門家たるキャリアコンサルタントに関する、より「分かりやすい」「確実で」「継続的な」これら 3 つの質を保証する仕組みの整備が社会的課題としてより明確化され、国家資格「キャリアコンサルタント」が誕生致しました。このように、日本におけるキ

キャリアコンサルティングは国の重要な政策の1つとして位置づけられております。3本の矢の第3の矢、日本再興戦略「働き方改革」の下でも「キャリア支援・人材育成」が重要な柱の1つになっております。と言われてもほとんど馴染みのない「キャリアコンサルタント」今ひとつわかりにくいそんな風を感じていらっしゃるかもしれません。そこで、キャリアコンサルタントの特徴を3つにまとめてみました。キャリアコンサルタントとは、キャリアコンサルティングを行う専門家、登録制の名称独占資格（但し5年毎に知識、技能共に資格更新が必要になります）・守秘義務・信用失墜行為の禁止義務の以上3つです。これらにより、職業に関する相談を今まで以上に安心してできるようになりました。

では、これはいったい何を意味するのでしょうか？それは「労働者のキャリア形成は会社が責任を負う時代」というものです。全ての事業主が雇用者に対して、キャリアコンサルティングの機会確保を必要に応じて行うことが推奨されています。それでは、現状はどのようになっているのでしょうか？厚生労働省「平成28年度能力開発基本調査結果」（2017年3月）によりますと、正社員に対してキャリアコンサルティングを行うしくみを導入している事業所は44.5%です。では、企業の人事担当者はどのように考えているのでしょうか。人事担当者の44%は、「従業員は悩んでいないからコンサルティングは必要ない」と考えているようです。このような認識の中でも国家戦略として5年後、キャリアコンサルタントの目標人数は10万人とも言われております。これからは、悩んでいない人もキャリアコンサルティングの対象者となり、企業は従業員にキャリアコンサルティングを受けさせなければならないという義務化の時代が近づいているようです。因みに最初に義務化されたのは、平成27年9月1日施行、労働者派遣法の改正に伴い労働者派遣事業派遣元に対してです。以上がキャリアコンサルタント資格化の経緯です。

本日はキャリアコンサルタントについてご説明させていただきましたこと、また、貴重なお時間を皆様と共有できましたことを心より感謝しております。少しでも悩まれる方々のお役に立てればと微力ながら努力して参ります。

大変短い時間ではございましたが、ご清聴ありがとうございました。

次回例会案内

平成30年1月17日（水） 卓話「話すこと 壁の超え方」

中部大学 キャリアカウンセラー&フリーアナウンサー 小島愛理氏